

日本における職業とルッキズムの関係性

衣笠ゼミ 小林可奈 栗城七奈 鳥越菜月 山本優那 高継嘉 村井友哉
高倉妃生 瀧川俊介 西川綾 野原滉太 長谷川雄大

◆◆研究動機◆◆

外見的な美醜を重視して人を評価する“ルッキズム”が問題に

ex)ミスコンの多様化や履歴書の顔欄の削除を求める運動



就活の体験から、容姿を重視する“顔採用”に疑問を持った



日本ではなりたい
職業の選択が社会に
よって制限されて
いるのではないか？

仮説

制限する要素を作り出しているのは
私たち自身なのではないか

アンケート調査

◆目的

世間の人々が持つ、ある一定の職業に対するステレオタイプを調査

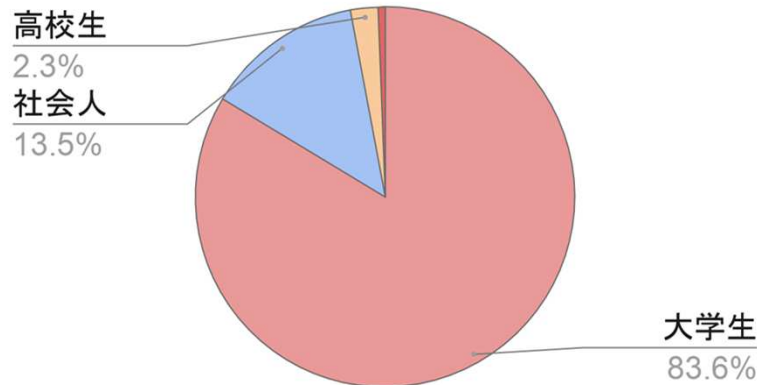
◆調査対象

職業選択を迫られる20歳前後の男女171名

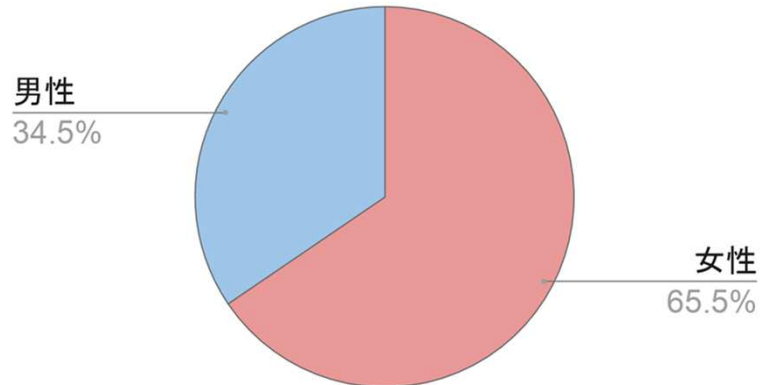
◆調査手段

SNSで拡散したGoogle フォームによるアンケート

所属を教えてください



性別を教えてください

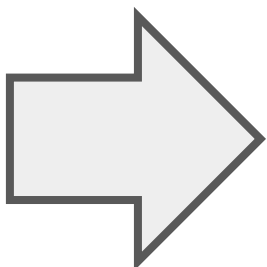


研究対象

◆アナウンサー

◆CA

◆モデル



容姿が重要とされるイメージの強い

3つの職業を具体例として展開

1.好きなアナウンサーとその理由

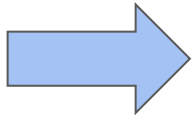
女性

- 1位 水ト麻美アナ(30人) かわいい、面白い、親近感
- 2位 弘中綾香アナ(25人) かわいい、面白い、癒される
- 3位 田中みな実アナ(13人) かわいい、努力家

何か違和感を
覚えませんか？

男性

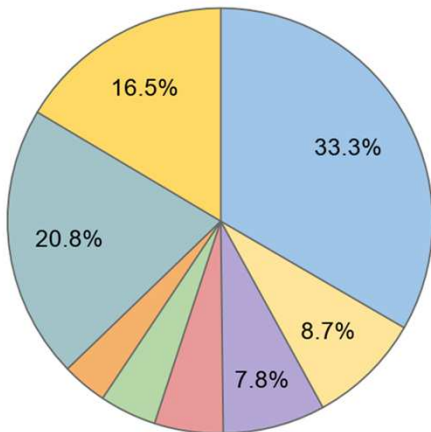
- 1位 柘太一アナ(22人) 誠実そう、面白い、親近感
- 2位 安住紳一郎アナ(8人) 雰囲気が良い、賢そう
- 3位 藤井貴彦アナ(7人) コメントが良い、ほとんど噛まない



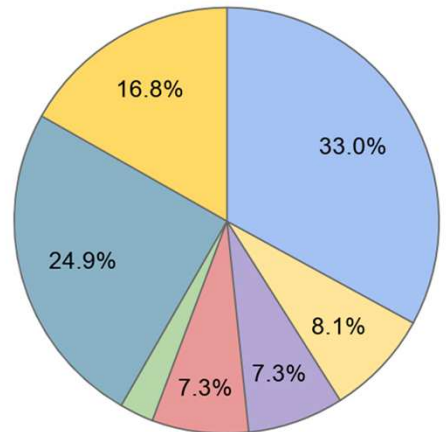
男性アナウンサーの容姿に関するコメントがない

2.「女性アナウンサーに対する自身のイメージ」と「世間が求めていると考えるイメージ」

自身が持つ女子アナへのイメージ



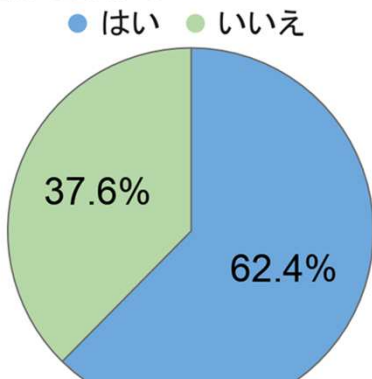
世間がもつ女子アナのイメージ



**容姿に関する
回答が最も多い！**

3.そのイメージは男性の場合 異なると思うか

世間からの女子アナのイメージは男性アナウンサーと比べて異なると思いますか？



「はい」と答えた人のうち88%が「男性は容姿よりも誠実さや清潔感が重要」と回答

アンケートまとめ

多くの方が女性アナウンサーに「**綺麗で可愛くあること**」を求められていると考えており、男性アナウンサーに求めるイメージと比較しても**容姿**を求められるのは女性特有であることがわかる

アンケート結果に見られるような 女性アナウンサーのイメージができた経緯

1.1953年のテレビ放送開始から
80年代までの女性アナウンサー

<1953年～60年代>

女性アナウンサー

= **男性アナウンサーの
アシスタント**

<70年代以降>

= 華やかさが求められ始めた時代

⇒

テレビ向きで**華やかさ**の
ある人が採用され始めた

2.1980年代後半女子大生ブームを経
て女子アナブーム

◆ 『**女子アナは自社だけに
出演するオリジナルの
アイドル**』

◆ **この頃から「女子アナ」
と呼ばれ始める**

ex) 寺田理恵子 八木亜希子
など

3.1990年代以降
加速する女子アナのタレント化

4.ディスカッション

女子アナによる
歌手ユニットの誕生

視聴率ありきの
テレビ局



元アイドルの
女性アナウンサー誕生

・平井理央
・紺野あさ美
など

ex) 93年 女子アナ3人による
歌手ユニット「DORA」

①テレビ局側も、アナウンサーの脱タ
レント化を図っている。

②男子アナの誕生の可能性もある…？

是非考えて
みてね！！

まとめ

テレビ局側が“戦略的”に作り上げた女性アナウンサーの
イメージが、私たちの意識下に根深く残っている
しかし、そのイメージを根付かせる元となった
テレビ局の戦略そのものが、**視聴者（=私たち）の
「ニーズ」**によって作り出されたということもできる

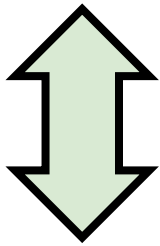
CAの求める人物像と歴史



昔：募集要項



- ◆容姿端麗であること
- ◆英語力が高い人
- ◆身長165 cm以上



現在：募集要項



- ◆視力1.0以上
(コンタクト可)
- ◆TOEIC600点以上

CAの歴史

1920's 初期は男性CA

⇒副操縦士の業務代行

1930's 元看護師の女性登用

⇒人命救助のため

1960's 制服スカート丈短い

⇒『ビジネスマン』が主要顧

客層であったため

1980's 男女雇用機会均等法

⇒女性の職業選択が広がる

海外旅行者急増

⇒円高、バブルの影響

1990's 募集要項変更

2010's 男性の新卒採用



(出典：<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20180603001903.html>)

昔は容姿重視。

現在は容姿は重視されていない

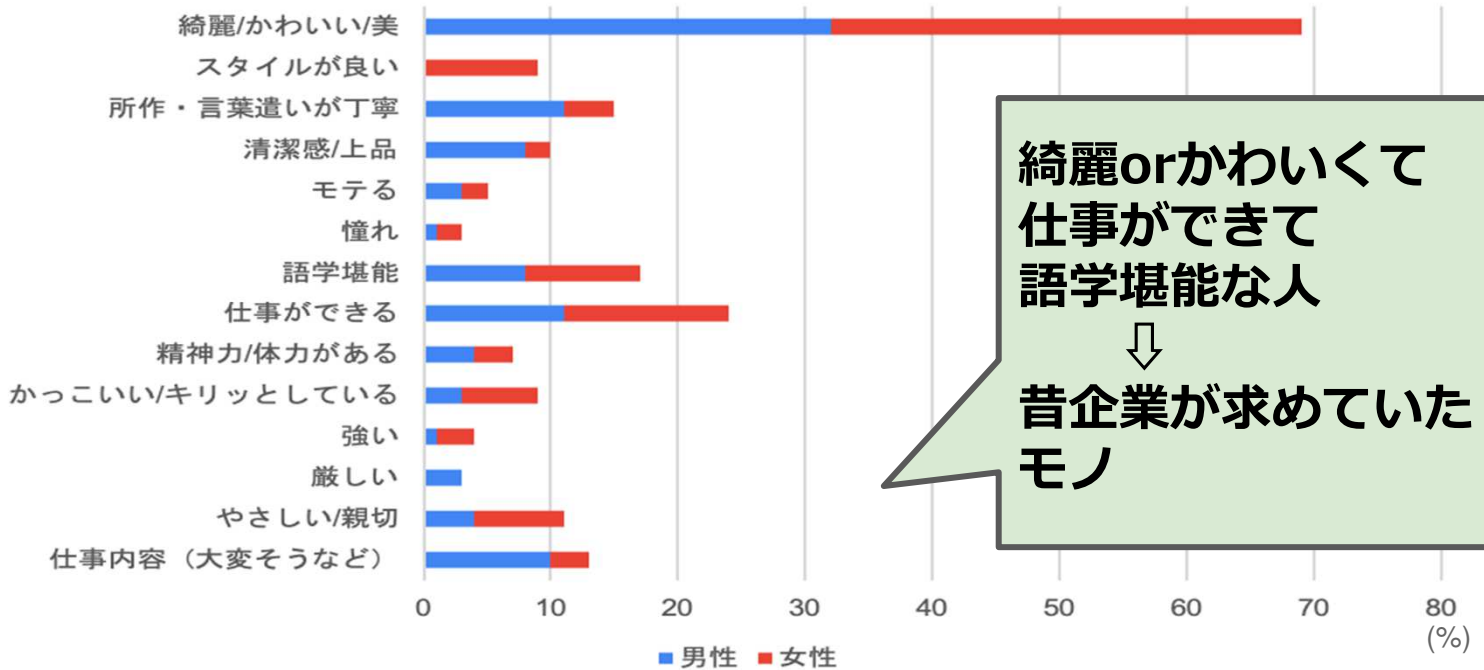
⇒JALの求める人材像

- ◆素直で美しい心
- ◆感知力 ◆人間力

企業側が求める人物像と裏腹に我々のイメージは昔のまま？

被験者のCAのイメージ

CAに対してどのようなイメージを抱いていますか？

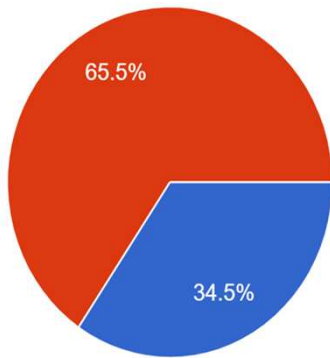


綺麗orかわいくて
仕事できて
語学堪能な人
↓
昔企業が求めていた
モノ

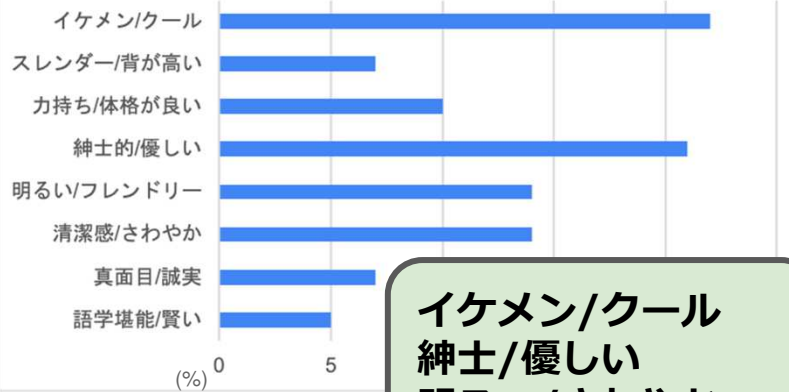
CAになりたいと思ったことはありますか？

171件の回答

- はい 34.5%
- いいえ 65.5%



CAが全員男性だったら、どのような男性が多いとイメージしますか？



イケメン/クール
紳士/優しい
明るい/さわやか

まとめ

CAへのイメージ⇒容姿端麗、英語力

企業側が求めるモノ⇒人間性

企業が求める人材像は変化したか、人々のCAへのイメージは昔企業が求めていた人物像のまま（容姿重視含む）であり、我々のステレオタイプが職業選択を制限してしまっている

1、モデルを目指した経験の有無



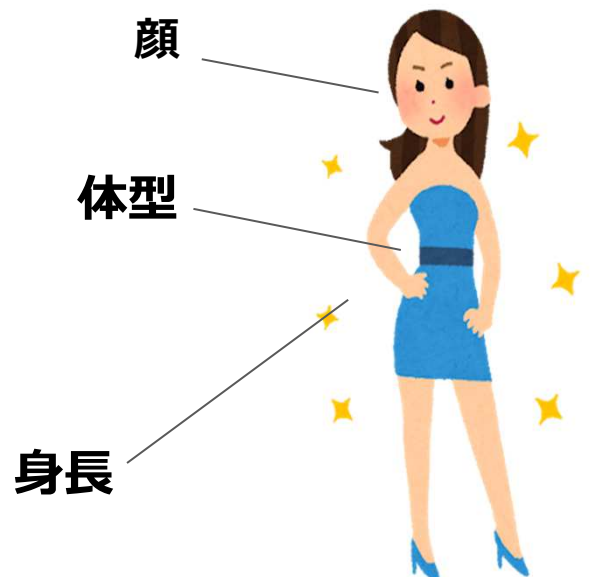
一部理由抜粋

あり：洋服が好きだから、高身長を活かしたい

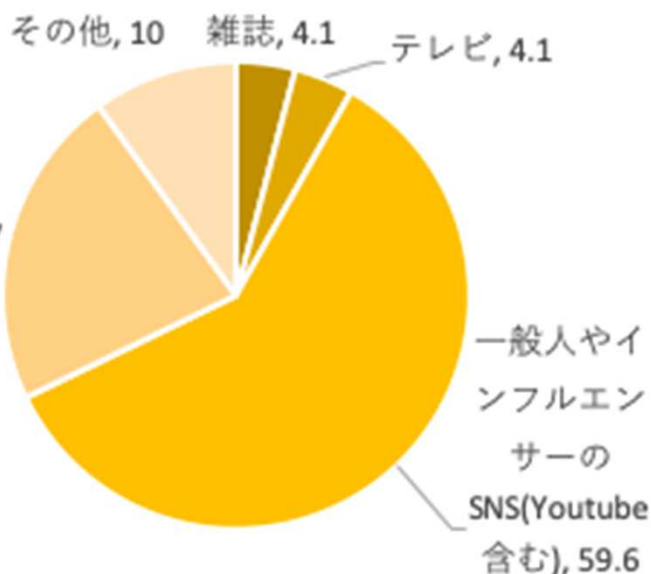
なし：自身のスタイルがモデルに向いていない、自分の容姿に自信がない

2、モデルに求められる素質・才能

1. 顔(93.6%)
2. 体型(90.1%)
3. 身長 (55.6%)
4. ファッションセンス(40.9%)
5. 表現力(39.8%)



3、ファッション情報の収集手段



アンケートまとめ

・目指した経験のない人の理由は外見に関するものが多数

・素質や才能に多い意見は見た目に関するもの

・ファッションの参考は、モデルや芸能人、雑誌ではなく一般人やインフルエンサー

女性ファッション誌 「ViVi」 「JJ」 年代別記事分析

	読者	2019年度発行部数	価格
ViVi	20歳前後の女性	115,000冊	690円
JJ		112,600冊	680円

①モデルの体型の変化

②読者モデル誌面登場回数の減少

③女性の体型に関する記述の減少

調査対象：

1980年代～現在

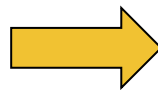


「いわゆるモデル体型
B86,W54,H86」
ViVi 3巻7号より

「顔より身体が恋を呼ぶ」
JJ 32巻6号より

考察

記事と現実の
剥離



モデルの幻想化
より遠い存在に

まとめ

- ・ 20歳前後の男女が持つモデルへのイメージは未だ**変化していない**という現状
- ・ 一方で、女性ファッション雑誌においては、**ルッキズムが問題視され始めた世の中**に合わせて、体型に関する記述の減少などの**変化**も

最後に

アナウンサー

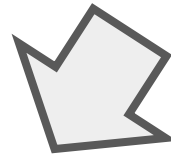
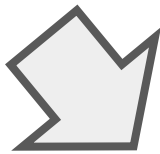
かつてテレビ局が作り上げた女性アナウンサーのイメージは視聴者（私たち）のニーズが大きく影響している

CA

企業が求める人材像は変化したが、人々のCAへのイメージは昔企業が求めていた人物像のまま（容姿重視）

モデル

イメージは未だ変化せず
女性ファッション雑誌では時代に合わせた変化が見られる



結論

「私たち自身が、なりたい職業の選択肢を制限している要因の一つである」と言える



全体を通じて

問題だと思っけていても「そんなもん」と諦めていませんか？ 当たり前を疑うことが社会問題を解決する第一歩になるかもしれません。

私たちが作り出したステレオタイプを、また変えていくのも私たちなのではないでしょうか？

参考文献

情報・知識&オピニオンimidas | みんなの憧れ「女子アナ」 | 夫人アナウンサーから「女子アナ」、「女性キャスター」への道 (2020/11/24 閲覧)

<https://imidas.jp/jjikaitai/L-40-057-08-08-G067>

NEWSポストセブン 水ト麻美アナ入社以来退社者ゼロ、日テレ女子アナ変化の歴史 (2020/11/24 閲覧)

https://www.news-postseven.com/archives/20200703_1574182.html/2

NEWSポストセブン 日本初の女子アナ 1年で退社し9年ご年下男性と心中した (2020/11/24 閲覧)

https://www.news-postseven.com/archives/20130129_168284.html?DETAIL

TABLO かつて日本に「女子アナ・ブーム」が巻き起こったことを覚えていますか？ | フジテレビ1961～2018年 (2020/11/24 閲覧)

<https://tablo.jp/media/entertainment/news003398.html>

サンケイビズ「『憧れの職業』CAの人气が下がった理由『華やかな仕事』ではなくなった現実」 (2020. 11. 23閲覧)

<https://www.sankeibiz.jp/business/news/180211/bsd1802111304002-n2.htm>

日本航空株式会社「求める人財像 客室乗務員」 (2020年11月23日閲覧)、
<https://www.job-jal.com/recruit/ideal-staff/staff04.html>

ウトナビ「初代スッチーは男性だった！ 女性客室乗務員のイメージ変遷に見る、女性の社会的地位の歴史」 (2020年11月23日閲覧)

<https://wotopi.jp/archives/2049>

『ViVi』講談社1983年7月号 (1巻1号) ～2012年6月号 (30巻7号)

『JJ』光文社1993年6月号 (19巻6号) ～2014年6月号 (40巻6号)

一般社団法人 日本雑誌協会「印刷部数公表」

<https://www.j-magazine.or.jp/user/printed/index/44> (2020年11月24日閲覧)